

◆道路運送車両法(過去問題 貨物)◆

問9 (27年8月)

道路運送車両法の目的についての次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。

1. 道路運送車両法に関し、所有権についての公証等を行うこと。(正しい)
2. 道路運送車両法に関し、安全性の確保を図ること。(正しい)
3. 道路運送車両法に関し、整備についての技術の向上を図ること及び自動車製造事業の健全な発達に資すること。(誤り) 正しくは自動車整備事業
4. 道路運送車両に関し、公害の防止その他の環境の保全を図ること。(正しい)

問9 (28年8月)

自動車の登録等に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 登録自動車の所有者の住所に変更があったときは、所有者は、その事由があった日から15日以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。(正しい)
2. 自動車の使用者は、自動車検査証の記載事項について変更があったときは、法令で定める場合を除き、その事由があった日から15日以内に、当該事項の変更について、国土交通大臣が行う自動車検査証の記入を受けなければならない。(正しい)
3. 臨時運行の許可を受けた自動車を運行の用に供する場合には、臨時運行番号標及びこれに記載された番号を見やすいように表示し、かつ、臨時運行許可証を備えなければならない。また、当該臨時運行許可証の有効期限が満了したときは、その日から15日以内に、当該臨時運行許可証及び臨時運行許可番号標を行政庁に返納しなければならない。(誤り) 正しくは、5日以内
4. 登録自動車の所有者は、当該自動車の自動車登録番号標の封印が滅失した場合には、国土交通大臣又は封印取付受託者の行う封印の取付けを受けなければならない。(正しい)

問9 (29年8月)

自動車の登録等についての次の記述のうち、正しいものを2つ選び解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 登録自動車の所有者は、当該自動車が滅失し、解体し(整備又は改造のために解体する場合を除く)、又は自動車の用途を廃止したときは、その事由があった日(使用済自動車の解体である場合には解体報告記録がなされたことを知った日)から15日以内に、永久抹消登録の申請をしなければならない。(正しい)
2. 臨時運行許可証の有効期間が満了したときは、その日から15日以内に、当該臨時運行許可証及び臨時運行許可番号標を行政庁に返納しなければならない。
(誤り) 正しくは、5日以内
3. 自動車の所有者は、当該自動車の使用の本拠の位置に変更があったときは、道路運送車両法で定める場合を除き、その事由があった日から30日以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。(誤り) 正しくは、15日以内
4. 何人も、国土交通大臣若しくは封印取付受託者が取付けをした封印又はこれらの者が封印の取付けをした自動車登録番号標は、これを取り外してはならない。ただし、整備のために特に必要があるときその他の国土交通省令で定めるやむを得ない事由に該当するときは、この限りではない。(正しい)

問9 (30年8月)

道路運送車両法の自動車の登録等についての次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 登録自動車の所有者は、当該自動車の使用者が道路運送車両法の規定により自動車の使用の停止を命ぜられ、自動車検査証を返納したときは、遅滞なく、当該自動車登録番号標及び封印を取りはずし、自動車登録番号標について国土交通大臣の領地を受けなければならない。(正しい)
2. 自動車登録番号標及びこれに記載された自動車登録番号の表示は、国土交通省令で定めるところにより、自動車登録番号標を自動車の前面及び後面の任意の位置に確実に取り付けることによつて行うものとする。
(誤り) 正しくは、告示で定める位置

3. 自動車の所有者は、当該自動車の使用の本拠の位置に変更があったときは、道路運送車両法で定める場合を除き、その事由があった日から15日以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。(正しい)
4. 道路運送車両法に規定する自動車の種別は、自動車の大きさ及び構造並びに原動機の種類及び総排気量又は定格出力を基準として定められ、その別は、普通自動車、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車である。(正しい)

問10 (27年8月)

自動車の検査等についての次の記述のうち、正しいものを2つ選び解答用紙の該当する欄にマークしなさい。

1. 国土交通大臣の行う自動車(検査対象外軽自動車及び小型特殊自動車を除く。以下同じ)の検査は、新規検査、継続検査、臨時検査、構造等変更検査及び予備検査の5種類である。(正しい)
2. 自動車運送事業の用に供する自動車は、自動車検査証を当該自動車又は当該自動車の所属する営業所に備え付けなければ、運行の用に供してはならない。(誤り) 正しくは、自動車に備え付けなければならない。
3. 初めて自動車検査証の交付を受ける車両総重量7,990キログラムの貨物の用に供する自動車については、当該自動車検査証の有効期間は1年である。(誤り) 正しくは、有効期間2年である。
4. 自動車は、国土交通大臣の行う検査を受け、有効な自動車検査証の交付を受けているものでなければ、これを運行の用に供してはならない。(正しい)

問10 (28年8月)

自動車の検査等に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 自動車運送事業の用に供する自動車は、自動車検査証を当該自動車又は当該自動車の所属する営業所に備え付けなければ、運行の用に供してはならない。(誤り)
2. 自動車の使用者は、継続検査を申請する場合において、道路運送車両法第67条(自動車検査証の記載事項の変更及び構造等変更検査)の規定による自動車検査証の記

入の申請をすべき事由があるときは、あらかじめ、その申請をしなければならない。
(正しい)

3. 初めて自動車検査証の交付を受ける貨物の運送の用に供する事業用自動車であって、車両総重量8トン未満の自動車の当該自動車検査証の有効期間は1年である。
(誤り) 正しくは、8トン未満の有効期間は2年。
4. 自動車検査証の有効期間の起算日は、当該自動車検査証を交付する日又は当該自動車検査証に有効期間を記入する日とする。ただし、自動車検査証の有効期間が満了する日の1カ月前から当該期間が満了する日までの間に継続検査を行い、当該自動車検査証に有効期間を記入する場合は、当該自動車検査証の有効期間が満了する日の翌日とする。(正しい)

問10 (29年8月)

自動車の検査等についての次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 自動車の使用は、自動車検査証の記載事項について変更があったときは、法令で定める場合を除き、その事由があった日から15日以内に、当該事項の変更について、国土交通大臣が行う自動車検査証の記入を受けなければならない。(正しい)
2. 国土交通大臣は、継続検査の結果、自動車が道路運送車両の保安基準に適合しないと認めるときは、当該自動車の自動車検査証を使用者に返付しないものとする。
(正しい)
3. 自動車運送事業の用に供する自動車は、自動車検査証を当該自動車又は当該自動車の所属する営業所に備え付けなければ、運行の用に供してはならない。(誤り)
4. 何人も、国土交通大臣の行う検査を受け、有効な自動車検査証の交付を受けている自動車について、自動車又はその部分の改造、装置の取付け又は取り外しその他これらに類する行為であって、当該自動車が道路運送車両の保安基準に適合しないこととなるものを行ってはならない。(正しい)

問10 (30年8月)

自動車の検査等についての次の記述のうち、正しいものを2つ選び解答用紙の該当する欄にマークしなさい。

1. 国土交通大臣の行う自動車(検査対象外軽自動車及び小型特殊自動車を除く。以下同じ)の検査は、新規検査、継続検査、臨時検査、構造等変更検査及び予備検査の5種類である。(正しい)
2. 自動車検査証の有効期間の起算日は、自動車検査証の有効期間が満了する日の**2カ月前**(離島に使用の本拠の位置を有する自動車を除く)から当該期間が満了する日までの間に継続検査を行い、当該自動車検査証に有効期間を記入する場合は、当該自動車検査証の有効期間が満了する日の翌日とする。
(誤り) 正しくは、1カ月前
3. 自動車運送事業の用に供する自動車は、自動車検査証を当該自動車又は当該自動車の所属する営業所に備え付けなければ、運行の用に供してはならない。(誤り)
4. 初めて自動車検査証の交付を受ける車両総重量7, 990 kilogramsの貨物の用に供する自動車については、当該自動車検査証の有効期間は2年である。(正しい)

問11 (27年8月)

道路運送車両法に定める自動車の日常点検整備について次の文中、A、B、C、Dに入るべき字句としていずれか正しいものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。自動車運送事業の用に供する自動車の[A]又はこれを運行する者は、1日1回、その運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、[B]の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。自動車の[A]は、点検の結果、[C]状態にあるときは、[D]ために当該自動車について必要な整備をしなければならない。

- | | | |
|---|---|---------|
| A | 1. 所有者 | 2. 使用者 |
| B | 1. かじ取り装置 | 2. 制動装置 |
| C | 1. 当該自動車が保安基準に適合しなくなるおそれがある状態又は適合しない
2. 当該自動車が保安基準に適合しない | |
| D | 1. 保安基準に適合しなくなるおそれをなくするため、又は保安基準に適合させる
2. 保安基準に適合させる | |

問11 (28年8月)

自動車の検査等についての次の記述のうち、正しいものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 指定自動車整備事業者が交付した有効な保安基準適合標章を自動車に表示してい

る場合であっても、当該自動車に自動車検査証を備えなければ、これを運行の用に供してはならない。(誤り) 有効な保安基準適合標章を表示している場合は、運行の用に供することができる。

2. 自動車の使用者は、自動車の長さ、幅又は高さを変更したときは、道路運送車両法で定める場合を除き、その事由があった日から30日以内に、当該事項の変更について、国土交通大臣が行う自動車検査証の記入を受けなければならない。(誤り) 正しくは、15日以内
3. 国土交通大臣は、一定の地域に使用の本拠の位置を有する自動車の使用者が、天災その他やむを得ない事由により、継続検査を受けることができないと認めるときは、当該地域に使用の本拠の位置を有する自動車検査証の有効期間を、期間を定めて延長する旨を公示することができる。(正しい)
4. 自動車に表示されている検査標章には、当該自動車の自動車検査証の有効期間の起算日が表示されている。(誤り) 正しくは、満了日が表示されている。

問11 (29年8月)

自動車の点検整備等に関する次のア、イ、ウ、エの文中、A、B、C、Dに入るべき字句としていずれか正しいものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。

- ア 自動車の[A]は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備をすることにより、当該自動車を道路運送車両の保安基準に適合するように維持しなければならない。
- イ 自動車運送事業の用に供する自動車の使用者又は当該自動車を運行する者は、[B]、その運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により、自動車を点検しなければならない。
- ウ 自動車運送事業の用に供する自動車の使用者は、[C]ごとに国土交通省令で定める技術上の基準により、自動車を点検しなければならない。
- エ 自動車運送事業の用に供する自動車の日常点検の結果に基づく運行可否の決定は、自動車の使用者より与えられた権限に基づき、[D]が行わなければならない。

- | | | |
|---|-----------|----------|
| A | 1. 所有者 | 2. 使用者 |
| B | 1. 必要に応じて | 2. 1日1回 |
| C | 1. 3ヵ月 | 2. 6ヵ月 |
| D | 1. 運行管理者 | 2. 整備管理者 |

問11 (30年8月)

道路運送車両法に定める自動車の整備命令等についての次の文中、A、B、C、Dに入るべき字句としていずれか正しいものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。

地方運輸局長は、自動車が保安基準に適合しなくなるおそれがある状態又は適合しない状態にあるとき(同法第54条の2第1項に規定するときを除く。)は、当該自動車の[A]に対し、保安基準に適合しなくなるおそれをなくするため、又は保安基準に適合させるために必要な整備を行うべきことを[B]ことができる。この場合において、地方運輸局長は、保安基準に適合しない状態にある当該自動車の[A]に対し、当該自動車が保安基準に適合するに至るまでの間の運行に関し、当該自動車の使用の方法又は[C]その他の保安上又は公害防止その他の環境保全上必要な指示をすることができる。

- | | | |
|---|----------|----------|
| A | 1. 使用者 | 2. 所有者 |
| B | 1. 命ずる | 2. 勧告する |
| C | 1. 使用の制限 | 2. 経路の制限 |

問12 (27年8月)

道路運送車両の保安基準及びその細目を定める告示についての次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。

1. 貨物の運送の用に供する普通自動車であつて、車両総重量が7トン以上のものの後面には、所定の後部反射器を備えるほか、反射光の色、明るさ等に関し告示で定める基準に適合する大型後部反射器を備えなければならない。(正しい)
2. 自動車の前面ガラス及び側面ガラス(告示で定める部分を除く)は、フィルムが貼り付けられた場合、当該フィルムが貼り付けられた状態においても、透明であり、かつ、運転者が交通状況を確認するために必要な視野の範囲に係る部分における可視光線の透過率が70%以上であることが確保できるものでなければならない。(正しい)
3. 自動車に備えなければならない方向指示器は、毎分60回以上120回以下の一定の周期で点滅するものでなければならない。(正しい)
4. 自動車に備えなければならない後写鏡は、取付部付近の自動車の最外側より突出している部分の最下部が地上2メートル以下のものは、当該部分が歩行者等に接触した場合に衝撃を緩衝できる構造でなければならない。
(誤り) 正しくは1, 8メートル以下

問12 (28年8月)

道路運送車両の保安基準及びその細目を定める告示についての次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 停止表示器材は、夜間200メートルの距離から走行用前照灯で照射した場合にその反射光を照射位置から確認できるものであることなど告示で定める基準に適合するものでなければならない。(正しい)
2. 自動車は、告示で定める方法により測定した場合において、長さ(セミトレーラにあっては、連結装置中心から当該セミトレーラの後端までの水平距離)12メートル、幅2.5メートル、高さ3.9メートルを超えてはならない。
(誤り) 正しくは、3.8メートル
3. 用語の定義に定める「空車状態」とは、道路運送車両が原動機及び燃料装置に燃料、潤滑油、冷却水等の全量を搭載し及び当該車両の目的とする用途に必要な固定的な設備を設ける等運行に必要な装備をした状態をいう。(正しい)
4. 貨物の運送の用に供する普通自動車であって、車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上のものの原動機には、自動車が時速90キロメートルを超えて走行しないよう燃料の供給を調整し、かつ、自動車の速度の制御を円滑に行うことのできるものとして、告示で定める基準に適合する速度抑制装置を備えなければならない。(正しい)

問12 (29年8月)

道路運送車両の保安基準及びその細目を定める告示についての次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 自動車(法令に規定する自動車を除く)の前面(被牽引自動車の前面に限る。)、両側面及び後面には、光を光源方向に効果的に反射することにより夜間に自動車の前方(被牽引自動車の前方に限る。)、側方又は後方にある他の交通に当該自動車の長さ又は幅を示すことができるものとして、反射光の色、明るさ、反射部の形状等に関し告示で定める基準に適合する再帰反射材を備えることができる。(正しい)
2. 自動車(法令に規定する自動車を除く)の後面には、他の自動車が追突した場合に追突した自動車の車体前部が突入することを有効に防止することができるものとし

て、強度、形状等に関し告示で定める基準に適合する突入防止装置を備えなければならない。ただし、告示で定める構造の自動車にあっては、この限りではない。
(正しい)

3. 自動車は、告示で定める方法により測定した場合において、長さ(セミトレーラにあっては、連結装置中心から当該セミトレーラの後端までの水平距離) 12メートル、幅2.6メートル、高さ3.8メートルを超えてはならない。
(誤り) 正しくは、2.5メートル
4. 自動車に備えなければならない非常信号用具は、夜間200メートルの距離から確認できる赤色の灯光を発するものでなければならない。(正しい)

問12 (30年8月)

道路運送車両の保安基準及びその細目を定める告示についての次の記述のうち、正しいものを2つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 火薬類(省令に掲げる数量以下のものを除く)を運送する自動車、指定数量以上の高圧ガス(可燃性ガス及び酸素に限る)を運送する自動車及び危険物の規制に関する政令に掲げる指定数量以上の危険物を運送する自動車には、消化器を備えなければならない。(被牽引自動車の場合を除く) (正しい)
2. 自動車に備えなければならない後写鏡は、取付部付近の自動車の最外側より突出している部分の最下部が地上2.0メートル以下^{以下}のものは、当該部分が歩行者等に接触した場合に衝撃を緩衝できる構造でなければならない。
(誤り) 正しくは、1.8メートル
3. 自動車の後面には、夜間にその後方150メートルの距離から走行用前照灯で照射した場合にその反射光を照射位置から確認できる赤色の後部反射鏡を備えなければならない。(正しい)
4. 自動車は、告示で定める方法により測定した場合において、長さ(セミトレーラにあっては、連結装置中心から当該セミトレーラの後端までの水平距離) 12メートル、幅2.5メートル、高さ4.1メートルを超えてはならない。
(誤り) 正しくは、3.8メートル